

芦屋港活性化基本計画 訂正箇所比較表

■芦屋港活性化基本計画 19 ページ ※訂正箇所は赤枠 で囲った項目となります。

訂正前

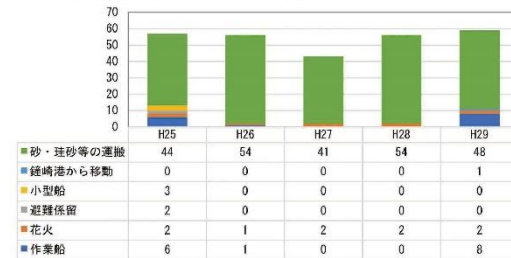
現状と課題

5) 芦屋港の利用状況

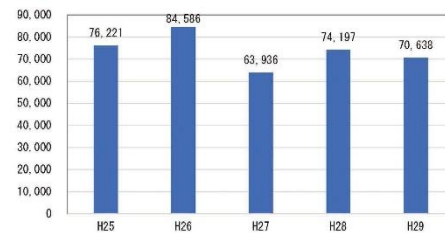
①物流港としての利用状況

- ・過去5年間の砂・庄砂などの運輸のための入港回数は、平均で48.2回/年、7.6tに1回の入港頻度となっています。
- ・過去5年間の取扱貨物量は、7万～8万トン/年で推移しており、芦屋港港湾計画に掲げる目標値13万トン/年からも非常に低位に推移しています。
- ・平成29年の福岡県内の港湾における芦屋港の入港船舶数、貨物取扱量（国内貿易のみ）の比率は、いずれも0.06%と非常に少なくなっています。

■芦屋港への入港回数の内訳（単位：回）



■取扱貨物量総トン数（単位：t）



… 19 …

4 現状と課題

訂正後

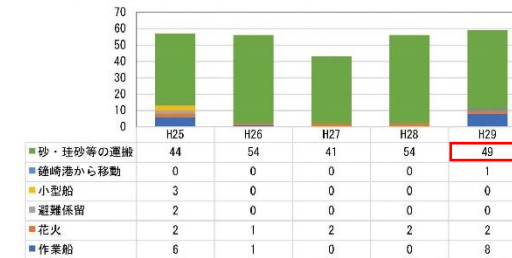
現状と課題

5) 芦屋港の利用状況

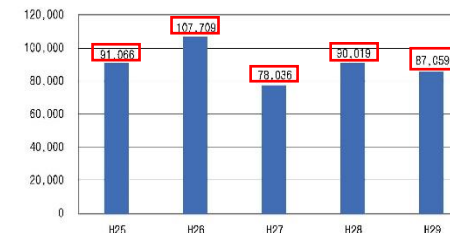
①物流港としての利用状況

- ・過去5年間の砂・庄砂などの運輸のための入港回数は、平均で48.4回/年、7.5tに1回の入港頻度となっています。
- ・過去5年間の取扱貨物量は、7万～10万トン/年で推移しており、芦屋港港湾計画に掲げる目標値13万トン/年からも低位に推移しています。
- ・平成29年の福岡県内の港湾における芦屋港の入港船舶数、貨物取扱量（国内貿易のみ）の比率は、いずれも0.06%、0.07%と非常に少なくなっています。

■芦屋港への入港回数の内訳（単位：回）



■取扱貨物量総トン数（単位：t）



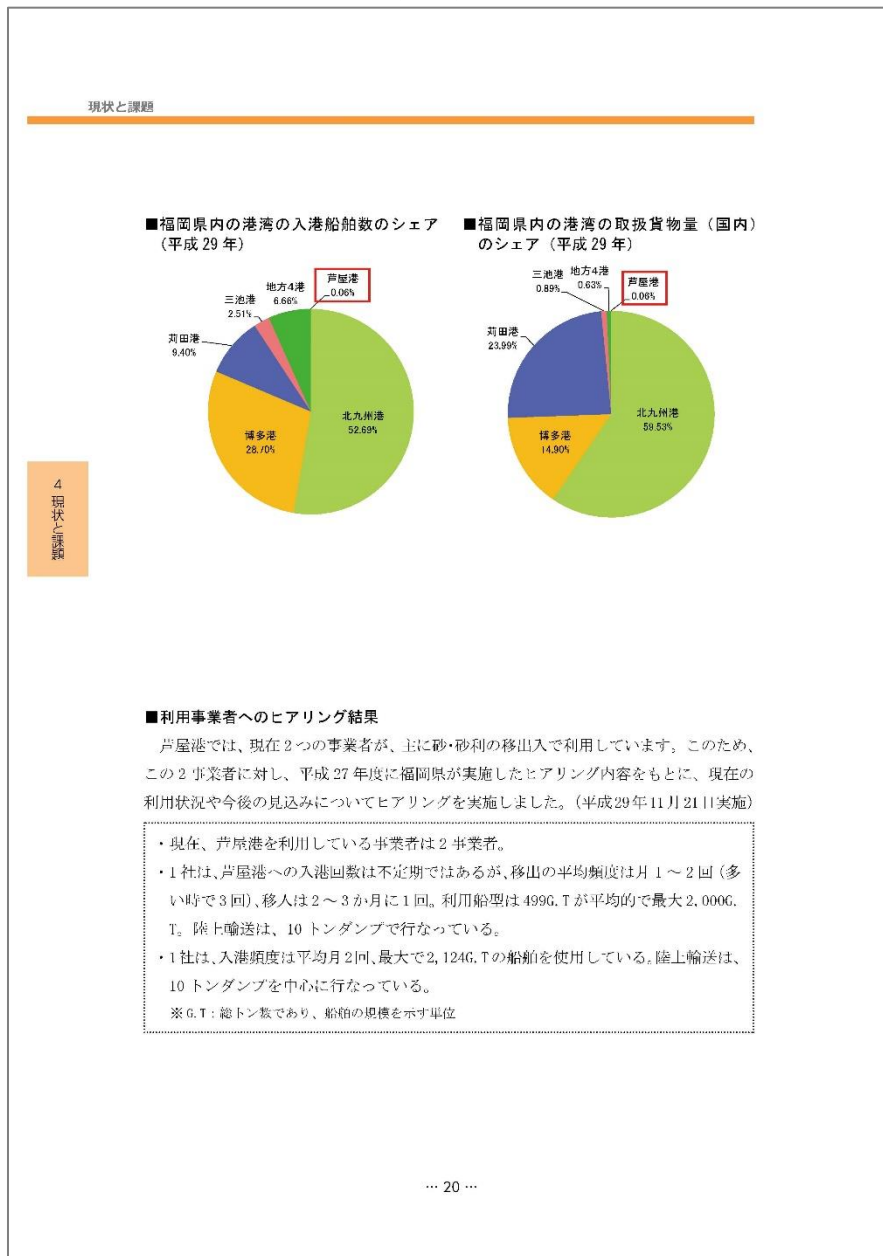
… 19 …

4 現状と課題

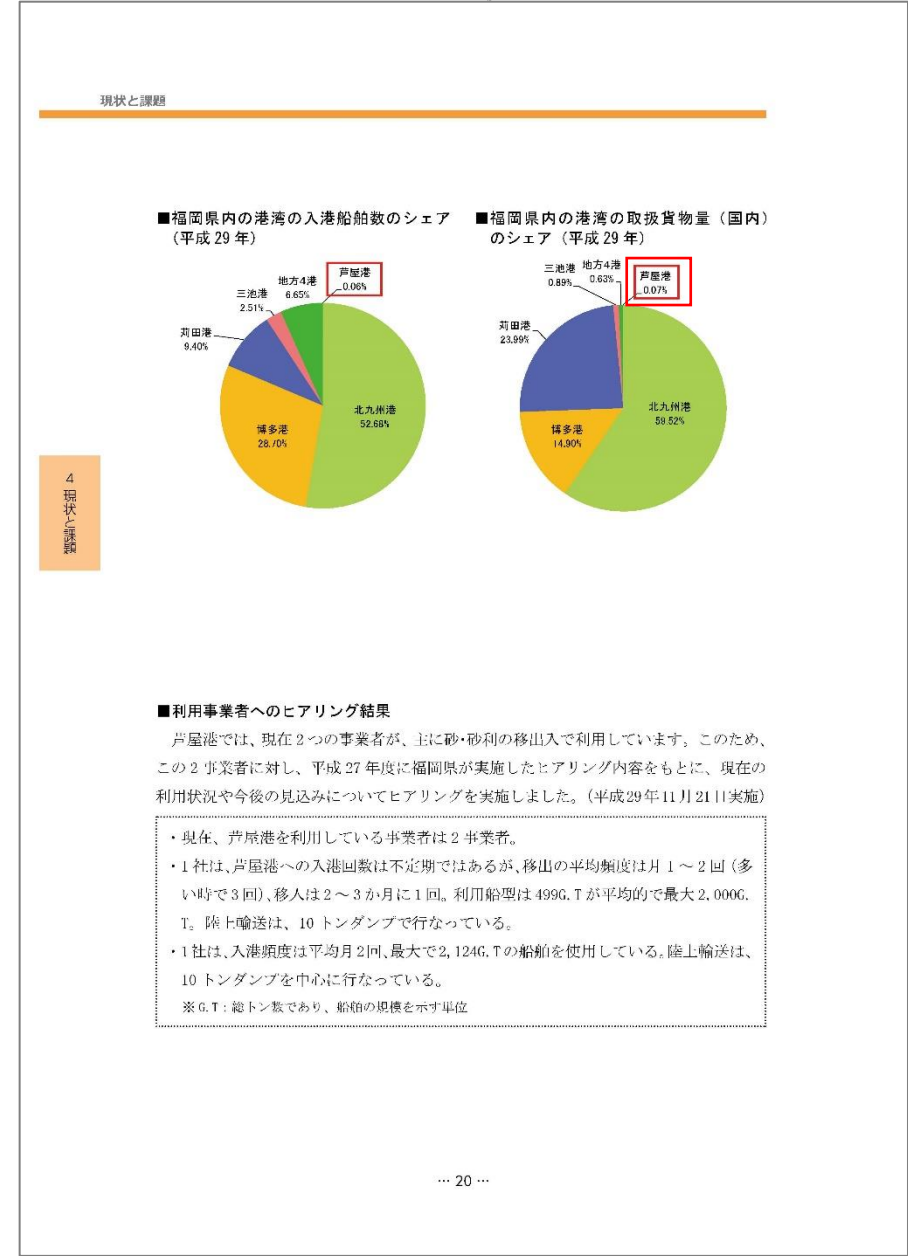
芦屋港活性化基本計画 訂正箇所比較表

■芦屋港活性化基本計画 20 ページ ※訂正箇所は赤枠 で囲った項目となります。

訂正前



訂正後



芦屋港活性化基本計画 訂正箇所比較表

■芦屋港活性化基本計画 158 ページ ※訂正箇所は赤枠 で囲った項目となります。

訂正前

資料編

3 芦屋町の現状に関する資料

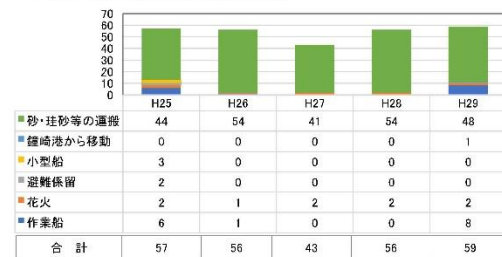
(1) 芦屋港の利用状況

1) 芦屋港の入港回数と取扱量

① 芦屋港の入港回数と入港目的

芦屋港の入港回数は、年による大きな変動はなく、砂運搬船が大半を占めています。
砂運搬船の入港は5年間の平均が年48.2回となっています。

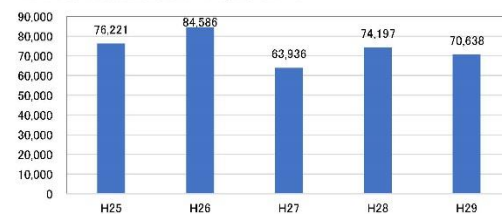
■芦屋港への入港回数の内訳(単位:回)



② 芦屋港の取扱貨物量総トン数

芦屋港の取扱貨物量総トン数は、年により増減がありながらも、70,000トン台で推移しています。

■芦屋港の取扱貨物量総トン数(単位:t)



※数値は水産物を除いたもの

… 158 …

訂正後

資料編

3 芦屋町の現状に関する資料

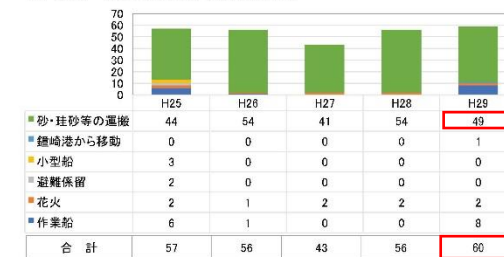
(1) 芦屋港の利用状況

1) 芦屋港の入港回数と取扱量

① 芦屋港の入港回数と入港目的

芦屋港の入港回数は、年による大きな変動はなく、砂運搬船が大半を占めています。
砂運搬船の入港は5年間の平均が年48.4回となっています。

■芦屋港への入港回数の内訳(単位:回)



② 芦屋港の取扱貨物量総トン数

芦屋港の取扱貨物量総トン数は、年により増減がありながらも、70,000トン～100,000トン台で推移しています。

■芦屋港の取扱貨物量総トン数(単位:t)



※数値は水産物を除いたもの

… 158 …

芦屋港活性化基本計画 訂正箇所比較表

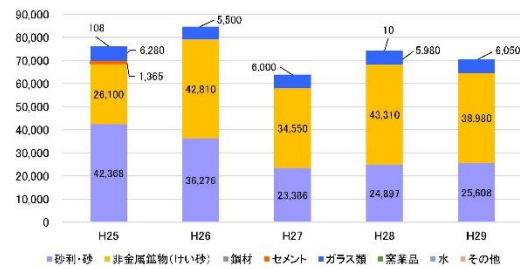
■芦屋港活性化基本計画 159 ページ ※訂正箇所は赤枠 で囲った項目となります。

訂正前

③芦屋港の取扱貨物の内訳

芦屋港で取り扱う貨物の内訳と量の推移を整理しました。それによると、非金属鉱物（けい砂）が最も多く、次いで、砂利・砂、ガラス類となっています。

■貨物量の内訳の推移(単位: t)



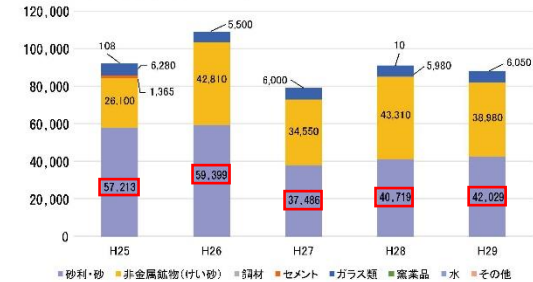
… 159 …

訂正後

③芦屋港の取扱貨物の内訳

芦屋港で取り扱う貨物の内訳と量の推移を整理しました。それによると、砂利・砂が最も多く、次いで、非金属鉱物（けい砂）、ガラス類となっています。

■貨物量の内訳の推移(単位: t)



… 159 …

芦屋港活性化基本計画 訂正箇所比較表

■芦屋港活性化基本計画 160 ページ ※訂正箇所は赤枠 で囲った項目となります。

訂正前

資料編

2) 福岡県における港湾利用状況との比較

平成 29 年の実績に基づき、福岡県内の港湾の立地状況及び港湾の入港回数、取扱貨物量を整理し、芦屋港の実績の比較を行います。

福岡県内の港湾は下表のとおり 9 箇所あります。

■福岡県内の港湾一覧（福岡県土整備部港湾課資料：平成 29 年）

港湾名	管理者	種別	総トン数	取扱貨物主要品目（内国貿易）
北九州港	北九州市	国際拠点港湾	101,500,369 t	フェリー、鋼材、完成自動車、セメント、コークス
博 多 港	福岡市	国際拠点港湾	36,073,362 t	石油製品、フェリー、完成自動車、砂利・砂、取合せ品
苅 田 港	福岡県	重要港湾	37,205,479 t	自動車部品、セメント、完成自動車、非金属鉱物、砂利・砂
三 池 港	福岡県	重要港湾	2,102,933 t	石油製品、化学薬品、重油、原塩、染料・塗料・合成樹脂その他化学工業品
大牟田港	福岡県	地方港湾	79,280 t	砂利・砂
宇 島 港	福岡県	地方港湾	409,960 t	重油、砂利・砂、木材チップ、石灰石、原油
若 津 港	福岡県	地方港湾	2,150 t	重油、石油製品
大 島 港	福岡県	地方港湾 （避難港）	243,460 t	フェリー
芦 屋 港	福岡県	地方港湾	70,759 t	非金属鉱物、砂利・砂、ガラス類、水産品

※注 取扱貨物主要品目は、外国貿易と内国貿易（国内）に分類されているが、ここでは内国貿易のみを抽出している。外国貿易の取り扱いがあるのは、北九州港・博多港・苅田港・三池港の 4 港となっている。なお、総トン数は外国貿易と内国貿易の合算値である。

資料編

… 160 …

訂正後

資料編

2) 福岡県における港湾利用状況との比較

平成 29 年の実績に基づき、福岡県内の港湾の立地状況及び港湾の入港回数、取扱貨物量を整理し、芦屋港の実績の比較を行います。

福岡県内の港湾は下表のとおり 9 箇所あります。

■福岡県内の港湾一覧（福岡県土整備部港湾課資料：平成 29 年）

港湾名	管理者	種別	総トン数	取扱貨物主要品目（内国貿易）
北九州港	北九州市	国際拠点港湾	101,500,369 t	フェリー、鋼材、完成自動車、セメント、コークス
博 多 港	福岡市	国際拠点港湾	36,073,362 t	石油製品、フェリー、完成自動車、砂利・砂、取合せ品
苅 田 港	福岡県	重要港湾	37,205,479 t	自動車部品、セメント、完成自動車、非金属鉱物、砂利・砂
三 池 港	福岡県	重要港湾	2,102,933 t	石油製品、化学薬品、重油、原塩、染料・塗料・合成樹脂その他化学工業品
大牟田港	福岡県	地方港湾	79,280 t	砂利・砂
宇 島 港	福岡県	地方港湾	409,960 t	重油、砂利・砂、木材チップ、石灰石、原油
若 津 港	福岡県	地方港湾	2,150 t	重油、石油製品
大 島 港	福岡県	地方港湾 （避難港）	243,460 t	フェリー
芦 屋 港	福岡県	地方港湾	87,180 t	非金属鉱物、砂利・砂、ガラス類、水産品

※注 取扱貨物主要品目は、外国貿易と内国貿易（国内）に分類されているが、ここでは内国貿易のみを抽出している。外国貿易の取り扱いがあるのは、北九州港・博多港・苅田港・三池港の 4 港となっている。なお、総トン数は外国貿易と内国貿易の合算値である。

資料編

… 160 …

芦屋港活性化基本計画 訂正箇所比較表

■芦屋港活性化基本計画 161 ページ ※訂正箇所は赤枠 で囲った項目となります。

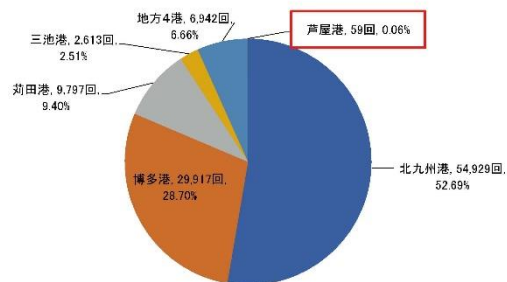
訂正前

資料編

①福岡県内の港湾における港湾入港回数

平成 29 年の福岡県内の港湾における入港船舶数実績は、104,252 回となっており、北九州港と博多港で全体の 80% 以上を占めています。そのうち芦屋港は 59 回であり、福岡県全体に占める割合は 0.06% と非常に低くなっています。

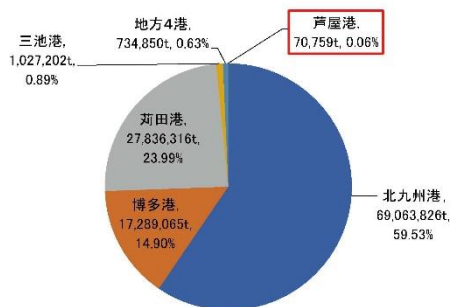
■平成 29 年の福岡県における港湾入港回数実績（単位：回、%）



②福岡県内の港湾における取扱貨物量（内国貿易）

福岡県内の港湾における内国貿易（国内の貿易）の取扱貨物量は、平成 29 年は、116,022,018 フレート・トンとなっています。そのうち芦屋港の実績は 70,759 フレート・トンで、福岡県全体に占める割合は 0.06% と非常に低くなっています。

■平成 29 年の福岡県における取扱貨物量（単位：t、%）



※フレート・トン：港湾における貨物の運賃や港運料を計算する際に用いる、貨物の単位のこと。フレート・トンは、1.133 立方メートルの容積、あるいは、1,000kg の重量を 1 トンとして容積と重量のうち大きい方を採用する。

… 161 …

資料編

訂正後

資料編

①福岡県内の港湾における港湾入港回数

平成 29 年の福岡県内の港湾における入港船舶数実績は、104,253 回となっており、北九州港と博多港で全体の 80% 以上を占めています。そのうち芦屋港は 60 回であり、福岡県全体に占める割合は 0.06% と非常に低くなっています。

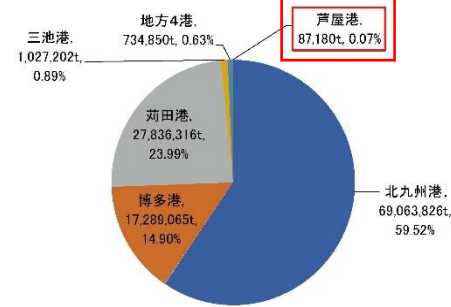
■平成 29 年の福岡県における港湾入港回数実績（単位：回、%）



②福岡県内の港湾における取扱貨物量（内国貿易）

福岡県内の港湾における内国貿易（国内の貿易）の取扱貨物量は、平成 29 年は、116,038,439 フレート・トンとなっています。そのうち芦屋港の実績は 87,180 フレート・トンで、福岡県全体に占める割合は 0.07% と非常に低くなっています。

■平成 29 年の福岡県における取扱貨物量（単位：t、%）



※フレート・トン：港湾における貨物の運賃や港運料を計算する際に用いる、貨物の単位のこと。フレート・トンは、1.133 立方メートルの容積、あるいは、1,000kg の重量を 1 トンとして容積と重量のうち大きい方を採用する。

… 161 …

資料編